

委員会レポート

Committee reports



各常任委員会に付託された案件について、審査した内容と結果を掲載しています。

環境福祉 常任委員会

◎下深迫孝二 〇徳田 修和 中村 満雄 宮本 明彦 中村 正人
松元 深 前川原正人 時任 英寛
◎委員長 〇副委員長

●審査した議案のうち主なものを掲載しています。

議案 第94、116号	霧島保健福祉センターなどの施設使用料改定等	全会一致
議案 第93、108号	総合福祉センターなどの施設使用料改定等	賛成多数
議案 第119号	指定管理者の指定について（霧島市牧園・横川地区し尿処理場）	全会一致

今回の改定は、市内すべての公共施設で類似施設

問 議案第108号溝辺ふれあい温泉センターと

一般財源の確保が当然の

子ども・若者の相談窓口

国分総合福祉センターや温泉施設使用料を改定

問 議案第93号国分総合福祉センターの浴室料金

答 温泉センターについて

子ども・若者の相談窓口の一元化について

平成27年度決算 全10会計を認定

一般会計 歳入総額 623億7,339万円
歳出総額 595億4,388万円

決算特別委員会

◎中村 正人、〇植山 利博、徳田 修和、阿多 己清、中馬 幹雄、宮本 明彦、有村 隆志、池田 綱雄、岡村一二三、下深迫孝二、今吉 歳晴、蔵原 勇、宮内 博

決算特別委員会

平成28年10月4日の現地調査から7日間の日程で決算議案13件の審査を行いました。

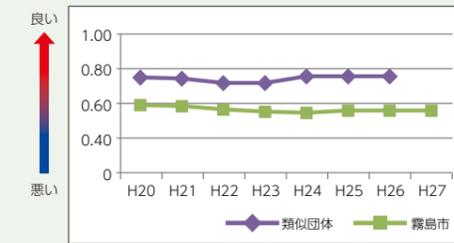
問 経営健全化をどういうレベルで推し進めていくのか。

答 平成29年度までは、新たな総合計画などの策定作業を進めていくが、経営健全化計画も併せて見直したいと考えている。年々、扶助費が増え、今後とも社会保障費については増えていくと思う。基金もある程度は確保して5年、10年先のことも考えつつ財政運営をしていかなければならない。平成32年度で終わる合併特例債も毎年20億円以上の起債をしている。合併特例債の終了時に向けて少しずつでも財政の効率化、健全性を図ることが必要と考える。

問 地域まちづくり計画の予算を各都ごとに、枠配分というような考え方で設定することは考えら

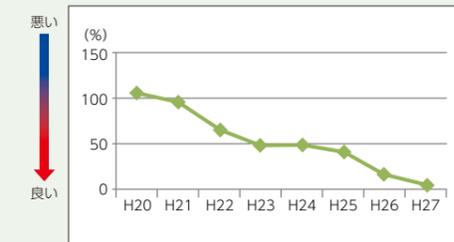
財政力指数

地方公共団体の財政力を判断する指数で、一般的に[1]に近いほど、さらに[1]を超えるほど財政力が強いとされています。



将来負担率

将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。350%を超えると健全化計画を策定し財政の健全化を図らなければなりません。



各会計の決算額

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	623億7,339万円	595億4,388万円	28億2,950万円	
特別会計	国民健康保険	173億6,408万円	180億1,766万円	△6億5,357万円
	後期高齢者医療	12億5,917万円	12億5,269万円	648万円
	介護保険	103億2,771万円	100億9,079万円	2億3,692万円
	交通災害共済事業	2,630万円	1,418万円	1,212万円
	下水道事業	14億6,282万円	14億1,854万円	4,427万円
企業会計	温泉供給	7,169万円	6,400万円	769万円
	水道事業(収益的部分)	23億9,560万円	18億2,740万円	5億6,820万円
	工業水道事業(収益的部分)	1,782万円	1,448万円	334万円
	病院事業(収益的部分)	46億8,737万円	44億8,227万円	2億0,509万円
合計	999億8,598万円	967億2,592万円	32億6,006万円	

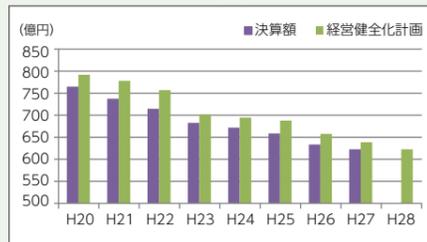
※国民健康保険特別会計の歳入が歳出に対して不足する額は、繰上充用(翌年度の歳入を繰り上げること)により措置しています。
※1万円未満を切り捨てているため差引額・合計が合わない場合があります。

財政調整に活用可能な3基金残高の推移

3基金は「財政調整基金」「特定建設事業基金」「減債基金」



市債残高の推移



問 霧島市国民健康保険特別会計繰上充用は、前年度

答 平成30年度では約10億円になると思われる。

問 受診者がサービスを受けやすくするための、今後の対応はどうか。

問 受診者がサービスを